

# 葛工!!ピンチ



令和元年 6月27日 発行

★皆さまのスマホのディスプレイに、親指と人差し指を乗せ、二本の指で押し広げるように、画面の一部を拡大することを、ピンチアウト (Pinchout) と呼びます。そこで葛工の最近の話題やトリビアを、ピンチアウトするようにお伝えしたい、そんな思いで「葛工!!ピンチ」と名付けました。「葛工がピンチ (危機)」なわけではありませんから、勘違いなさいませぬよう、ご用心ご用心。

*a pinch of esprit*

## Walk around the factory Stage 17

先週の木曜日で2年生のデュアル実習 (約一か月間企業へ行き、現場で学んできた) が終わったと思いきや、6/26 (水) には、2年生の機械科と1年生デュアルシステム科の生徒を対象に、「東小松川工場会見学会」がおこなわれた。



「東小松川工場会」は、東小松川地区およびその周辺に、工場や営業所を持つ、ものづくり企業の集まりだ。参加企業の専門分野は幅広い。金型加工、プレス加工、鉄骨加工、建築金物加工、鍍金（メッキ）加工、そのほか木工製作、機械メーカーまで含まれる。その「東小松川工場会」のご厚意により、葛西工業の生徒たちは、ものづくりの現場を間近に見て、現場の方々のことばを直接聞く。この貴重な見学会は、もう17年も続いているという。深謝！多謝！



今日は30℃を超えるという予想のなか、生徒たちは緊張した表情で、校外某所に集合、すぐ実習服・実習帽・安全靴へと着替える。まず全体注意があつて、1年2年混合の10名程度の班に分かれると、工場会が用意していただいた18の見学先から4箇所、それぞれ約30分かけて、丁寧に見学していく。午後学校へ戻ったら、まだ見学の印象が鮮やかなうちに、感想をまとめる。今年度の感想はまだお見せすることができないので、去年の「東小松川工場会見学会」の感想文集「Walk around the factory Stage16」から、いくつか抜粋する。

- ・機械本体が一台、1億から2億と聞いて驚いた。
- ・工場の中がとても暑くて、ここでの作業の大変さがよく分かった。
- ・重い鉄板を、いっぺんに何十枚も折り曲げるのを見て驚いた。
- ・ここで作られたものが、東京オリンピックでも使われると聞いて感動した。

- ・ 粉の塗料に電気を付け、塗装する方法があることを初めて知った。
- ・ 垂鉛がさまざまなことに使えることを、初めて知りました。
- ・ 名刺交換をさせていただいたとき、未知のルールがあることを知った。
- ・ 勉強も大切だが、その人の人相が大切だという話に心打たれました。

弾けるような、新鮮な好奇心に、あふれる言葉ばかりではないか。



当日の朝、東小松川工場会の方からいただいたお言葉が印象的だった。  
「今日は普段立入禁止の場所へ、入っていいですよ、という一日です。疑問に思ったことは、遠慮なく質問して下さい」  
これは最大級の「ご厚意」にして「ご好意」の言葉だ。分かってるかな？ 葛工生諸君！

▲ 幾千万のことばよりも、ひとつの現場体験から。それが葛西工業高校です。